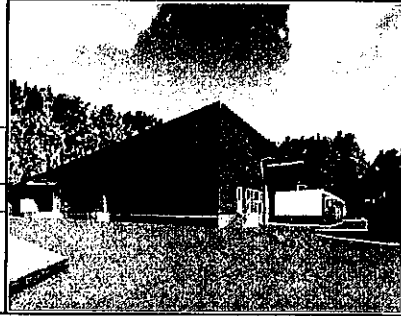


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	KDC 新築工事	階数	地上1F
建設地	京都府船井郡京丹波町鎌谷下ノ谷1番2、1番3、1番6、1番7、1番8、京都府船井郡京丹波町鎌谷下下田5番1、19番1、20番1、京都府船井郡京丹波町鎌谷下東山21番9 計9番	構造	S造
用途地域	指定無し地域、防火地域、指定無し	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2024年03月15日
敷地面積	19,183 m ²	作成者	上本善紀
建築面積	2,877 m ²	確認日	2024年04月01日
延床面積	2,933 m ²	確認者	石井 秀昭



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>3.0 1.5 BEE=1.0</p>	<p>★★★★★☆☆☆☆</p> <p>30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100% 超★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>73%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	73%	③上記+②以外の	73%	④上記+	73%	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>
①参照値	100%									
②建築物の取組み	73%									
③上記+②以外の	73%									
④上記+	73%									

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.1</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.1</p>
LR 環境負荷低減性		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>評価対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高:3.9m以上。</p> <p>[壁長さ比率] < 0.1</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>特になし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BEIm=0.29</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LGS使用している。</p> <p>発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率73%</p> <p>燃焼機器を使用していない。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される